授業科目の履修について説明します。
学生便覧と授業要覧を用意して下さい。

平成30年度
大学での授業の選択方法

神戸大学農学部
教務委員長

入学から卒業までの流れ (1)

大学を卒業するには・・・・・・

- 4年間（8学期以上）大学に在籍し,
- 所属学科・コースで決められている科目を学び,
- 期末試験に合格して,
- 卒業に必要な単位数(126単位)を得る。

入学から卒業までの流れ (2)

平成28年度から神戸大学ではクォーター制を導入しました。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター		春季休業	
授業履修						授業履修					

授業は1コマ90分
週2コマ×8週授業 （2単位）
週1コマ×8週授業 （1単位）

※実験等15週開講が適当な授業については，15週授業とする場合があります。

クォーター制の導入により，**2年生の第2クォーター**には原則として必修の専門科目(一部コースを除く)がありません。短期留学，インターンシップ，ボランティア等学生生活の選択肢がより柔軟になっています。ただし、短期留学等特別な理由がない限り必修の外国語科目やコースによっては共通専門基礎科目を履修する必要があります。

入学から卒業までの流れ（3）

高学年になるほど専門科目の割合が多くなる。

卒業研究を履修するための条件

※卒業に必要な必要修得単位数のうち，**各コースの定める単位**（学生便覧 p.126）を含め98単位を，3年次終了までに修得すること。

大学における授業の区別

A. 全学共通授業科目

‥‥国際教養教育院が提供する授業

①基礎教養科目，②総合教養科目，③外国語科目，
④情報科目，⑤健康・スポーツ科学，⑥共通専門基礎科目

B. 高度教養科目

‥‥国際教養教育院及び各学部が提供する授業

C. 専門科目

‥‥農学部が提供する授業

D. 資格取得のための科目

‥‥教員免許等を取得するための科目等

卒業に必要な単位数　①基礎教養科目　②総合教養科目

別表第2（第5条関係）履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
専門科目	共通専門基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目「情報科学1，2」を算入できる。
専門科目				15	16	16	14	12	12	
専門科目		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
専門科目		必修	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
専門科目		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
専門科目				82	81	81	83	85	85	
専門科目		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限２単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

学生便覧 p.112

全学共通授業科目(1)

（学生便覧 pp.86-90），

①基礎教養科目・・・・6単位

１・２年生のうちに修得すべき科目

人文系、社会科学系、生命科学系、自然科学系の4つの分野から開講し、基本的な知識及び「ものの見方」を学び、理解することを目的とした科目群

②総合教養科目・・・・6単位

１・２年生のうちに修得すべき科目

多文化に対する理解を深め、多分野にまたがる課題を考え、複眼的なものの見方、課題発見力を養成することを目的とした科目群

１年生の第2クォーターから履修可能

⇒<u>要　抽選登録（抽選登録期間5/7-5/14　17:00まで）</u>

卒業に必要な単位数

③外国語科目

別表第2（第5条関係） 履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
		選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コースおよび環境生物学コースでは情報科目「情報科学1,2」を算入できる。
				15	16	16	14	12	12	
		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
		必修	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
				82	81	81	83	85	85	
		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限２単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

全学共通授業科目(2)

(学生便覧 pp.90-91)

③外国語科目

１・２年生のうちに修得すべき科目

- 外国語第Ⅰ(必修)‥‥6単位
  - English Communication A1, A2, B1, B2
  - English Literacy A1, A2, B1, B2
  - Productive English 1,2
  - Autonomous English 1,2

- 外国語第Ⅱ(選択必修)‥‥4単位
  - ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語から1科目選択（初級A1,A2,A3,A4,B1,B2,B3,B4）

あらかじめクラスが指定されており，履修登録不要。
クラス分けは4/4　午後2時（予定）～鶴甲第一キャンパスK棟1階掲示板付近で発表

卒業に必要な単位数

④健康・スポーツ科学　⑤情報科目

別表第2（第5条関係）履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
				15	16	16	14	12	12	
		選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目「情報科学1, 2」を算入できる。
		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
			別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
				82	81	81	83	85	85	
		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限2単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

全学共通授業科目(3)

（学生便覧 pp.92）

④健康・スポーツ科学・・・・1単位

１年生のうちに修得すべき科目

- 健康・スポーツ科学実習基礎1，２（必修）

  ★初回授業時にガイダンスを行い履修クラス（種目）を決定。

  写真1枚（縦4cm×横3cm）を持参のうえ鶴甲第一キャンパス第2体育館に集合のこと。

- 健康・スポーツ科学実習1，２（選択）・・・教員免許必修科目

⑤情報科目・・・・1単位

１年生のうちに修得すべき科目

- 情報基礎（必修）

  ★4月10日（火）3限の授業で履修登録等に必要なうりぼーネットにログインするためのアカウント通知書配布

- 情報科学（選択）・・・・教員免許必修科目

④、⑤の必修科目は履修登録不要

卒業に必要な単位数

⑥共通専門基礎科目

別表第2（第5条関係）履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
専門科目	共通専門基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目「情報科学1,2」を算入できる。
専門科目		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
専門科目		必修	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
専門科目		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
専門科目		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限２単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

	食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科	
共通専門基礎科目	15	16	16	14	12	12
専門科目	82	81	81	83	85	85

全学共通授業科目(4)

（学生便覧 pp.93−109）

⑥共通専門基礎科目‥‥12～16単位

１・２年生のうちに修得すべき科目

- 数学及び理科の科目群
  - 数学‥‥微分積分学，線形代数学，数理統計学　等
  - 理科‥‥生物系，化学系，物理系，地学系科目群
    とその実験科目

★各コース毎に必修科目と選択科目とが決められている。

卒業に必要な単位数

初年次セミナー

別表第2（第5条関係） 履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
		選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コースおよび環境生物学コースでは情報科目「情報科学1，2」を算入できる。
			初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
		必修	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限２単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

初年次セミナー

1年生の第1クォーター月曜2限に開講。

第1回～第3回はC101教室で。

第4回目からは各コースに分かれて授業を行います。

第1回目は4/9(月曜日2限目）です。
必ず出席すること。

卒業に必要な単位数

高度教養科目

別表第2(第5条関係) 履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
				15	16	16	14	12	12	
		選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目「情報科学1,2」を算入できる。
		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
			別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
				82	81	81	83	85	85	
		自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限2単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

高度教養科目

３・4年生で修得すべき科目

（学生便覧 p.145）

自分野の専門性を身に付けた学生が、複数の学問分野に関わる課題を学ぶことにより、高度な複眼的思考能力を修得し、異なる分野での価値観や解決手法を理解することを目的とした科目群

国際教養教育院、各学部が提供する高度教養科目群の中から4単位必修

ただし、コース毎に必修科目あり

生産環境工学コース	高度教養セミナー農学部生産環境工学入門（3年・1単位） 高度教養セミナー農学部生産環境工学（4年・2単位）
食料環境経済学コース	兵庫県農業環境論A，B（2年・各1単位）
応用動物学コース	高度教養セミナー農学部応用動物学入門（3年・1単位） 高度教養セミナー農学部応用動物学（4年・2単位）
応用植物学コース	高度教養セミナー農学部応用植物学入門（3年・1単位） 高度教養セミナー農学部応用植物学（4年・2単位）
応用生命化学コース	高度教養セミナー農学部応用生命化学入門（3年・1単位） 高度教養セミナー農学部応用生命化学（4年・2単位）
環境生物学コース	高度教養セミナー農学部環境生物学入門（3年・1単位） 高度教養セミナー農学部環境生物学（4年・2単位）

卒業に必要な単位数

専門科目

別表第2（第5条関係）履修要件

授業科目の区分等			授業科目	必要修得単位数						備考
				食料環境システム学科		資源生命科学科		生命機能科学科		
				生産環境工学コース	食料環境経済学コース	応用動物学コース	応用植物学コース	応用生命化学コース	環境生物学コース	
基礎教養科目			別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
総合教養科目			別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	6	6	6	6	6	6	
外国語科目	外国語第II		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	4	4	4	4	4	4	ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目	1	1	1	1	1	1	
健康・スポーツ科学			別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	1	1	1	1	1	1	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自コース指定科目	2	2	2	2	2	2	
高度教養科目			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目，及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2	2	2	2	2	2	
専門科目	共通専門基礎科目	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	0	8	1	10	2	
				15	16	16	14	12	12	
専門科目	共通専門基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	16	8	13	2	10	応用動物学コース，応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目「情報科学1，2」を算入できる。
専門科目		必修	初年次セミナー	1	1	1	1	1	1	
専門科目		必修	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58又は44	47	35	42	40	42	生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。
専門科目		選択	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24又は35	26	40	37	42	38	
				82	81	81	83	85	85	
専門科目		自由	別表第1に掲げる専門科目（共通専門基礎科目を除く。）の授業科目，規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目							
自由科目			総合科目I及び総合科目II，並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目							自由科目に算入できる単位は上限２単位までとする。
合計				126	126	126	126	126	126	

専門科目

(学生便覧 pp.93-111, 授業要覧 pp.33-51)

- 学部共通で設定している必修科目

  ・・・「食の倫理」,「緑の保全」
- 学科・コースの必修科目
- 学科・コースの選択必修科目
- 学科・コースの選択科目

★学科，コースによって科目が指定されている。

詳しい説明はこの後のコース別ガイダンスで

履修登録時の共通注意事項

★科目名のあとに算用数字が付く科目については、数字の小さい順から履修すること。

★同学期に開講される1,2または3,4が付く科目は必ずセットで履修登録を行うこと。

★ 1,2または3,4が付く科目は両方とも合格することが望ましい。

★資格・免許に必要な科目として認定されている科目は必ず1,2または3,4両方とも合格しなければ当該資格・免許の取得はできない。

★授業要覧 pp.3-19を熟読すること。

履修登録をするために

☑学生便覧と授業要覧をみて、自分に必要な単位を把握する。

☑時間割表を見ながら履修申請コードを「うりぼーネット」から登録する。

履修登録期間

前期：**情報基礎の授業（4/10）後～4月19日（木）17：00**まで
後期：**10月1日（月）～10月15日（月）17：00**まで（予定）

この期間までに入力を完了し、かつ、履修登録届一覧を教務学生係に提出すること。（締切厳守）

※履修登録前であっても、履修予定の授業には必ず初回から出席してください。

http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/student.html

神戸大学トップページ→在学生の方へ→うりぼーポータル→「うりぼーネット」→ユーザーIDとPWを入力してログイン

神戸大学英語外部試験の案内

神戸大学では，入学後にプレイスメントテストとして英語外部試験を行います。入学時の英語能力を把握することは，将来の目標に応じて４年間の英語学修の計画を立てる上で重要です。またこの結果は，１年次後期以降の英語科目の特別クラスの選抜又は英語必修科目の単位授与に活用しますので，**必ず受験**してください。受験料は無料，申込みは不要です。

試 験 日　**４月８日(日)**

試験会場　**神戸大学鶴甲第１キャンパス**

（神戸市灘区鶴甲１丁目 2-1）

B棟，K棟，C棟

阪神電車「御影」，JR「六甲道」，阪急電鉄「六甲」から神戸市バス 16 系統又は 106 系統「六甲ケーブル下」行き乗車，「神大国際文化学研究科前」下車（参考：阪急電鉄「六甲」から徒歩 25 分）

神戸大学英語外部試験の種類・試験時間

学部	外部試験の種類	入室開始	試験開始	終了予定	試験室
農学部	TOEFL-ITP	13:45	14:00	16:30	B109・B210

※試験室については，４月４日(水)以降に鶴甲第１キャンパス，学生センター前掲示板（B 棟・南側，自動扉前付近）で確認してください。

英語外部試験について

- 農学部１年生は**全員４月８日(日）にTOEFL-ITPを受験**してください。**申込不要・受験料無料**

英語外部試験スコアの活用について

- 英語外部試験で高得点を取得した学生は、そのスコアを１年生後期以降から英語特別クラスの履修
  又は2年生前期の英語必修科目の単位授与
  のどちらかに活用できる。

- 英語特別クラスを希望する者は5月に申請

- 英語必修科目の単位授与を希望する者は5月または来年１月に申請